

表12 外国産野生動物の飼育

	該 当 者 数	よ い 個 人 の 責 任 で 自 由 に 飼 つ て も	規 制 に よ り 問 題 の な い も の に 限 定 す れ ば 飼 つ て も よ い	ペ ット と し て 飼 う べ き で な い	一 概 に い え な い	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%
総 数	2,190	14.5	28.9	49.2	4.1	3.2
〔都市規模〕						
大 都 市	463	14.5	29.2	49.7	3.5	3.2
東 京 都 区 部	133	12.0	34.6	48.9	3.0	1.5
政 令 指 定 都 市	330	15.5	27.0	50.0	3.6	3.9
中 都 市	807	14.5	30.5	46.7	5.3	3.0
小 都 市	422	10.7	28.4	53.6	4.5	2.8
町 村	498	17.9	26.5	49.2	2.4	4.0
〔性〕						
男 性	993	16.8	27.8	48.5	4.2	2.6
女 性	1,197	12.6	29.8	49.8	4.0	3.8
〔年齢〕						
20 ～ 29 歳	280	25.4	45.0	23.9	3.6	2.1
30 ～ 39 歳	334	18.9	39.8	35.6	4.2	1.5
40 ～ 49 歳	406	16.7	32.3	46.8	2.5	1.7
50 ～ 59 歳	455	13.0	26.4	52.3	5.7	2.6
60 ～ 69 歳	416	8.4	19.7	64.4	3.6	3.8
70 歳 以 上	299	7.4	13.7	65.6	5.0	8.4
〔住居の形態〕						
一 戸 建 て	1,714	13.9	27.6	50.8	4.4	3.2
集 合 住 宅	476	16.6	33.6	43.5	2.9	3.4
〔ペット飼育の好き嫌い〕						
好 き (小計)	1,490	15.7	30.7	47.1	3.8	2.8
嫌 い (小計)	635	11.8	25.4	54.3	4.6	3.9
〔ペット飼育の有無〕						
飼 っ て い る	803	17.1	32.3	43.5	4.1	3.1
飼 っ て い な い	1,387	13.0	27.0	52.6	4.1	3.3

ア 外国産野生動物を飼育すべきでない理由

リスザル、イグアナ、アライグマなど外国産の野生動物をペットとして飼うべきでないと答えた者(1,078人)に、そう考える理由は何か聞いたところ、「野生動物は自然のままにしておく方が良い」を挙げた者の割合が57.2%、「逃げ出したり、捨てられた場合に、予想されないような人への危害や農作物被害などが生じるおそれがある」を挙げた割合が52.6%と高く、以下、「外国から新しい病気を持ち込むおそれがある」(34.2%)、「逃げ出したり、捨てられた場合に、在来の動物を滅ぼすなど生態系への悪影響を及ぼすおそれがある」(32.4%)などの順となっている。(複数回答, 図13)

都市規模別に見ると、「野生動物は自然のままにしておく方が良い」、「外国から新しい病気を持ち込むおそれがある」を挙げた者の割合は、大都市で、「逃げ出したり、捨てられた場合に、予想されないような人への危害や農作物被害などが生じるおそれがある」を挙げた割合は、小都市で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「逃げ出したり、捨てられた場合に、在来の動物を滅ぼすなど生態系への悪影響を及ぼすおそれがある」を挙げた者の割合は、30歳代で高くなっている。

住居の形態別に見ると、「野生動物は自然のままにしておく方が良い」、「逃げ出したり、捨てられた場合に、予想されないような人への危害や農作物被害などが生じるおそれがある」を挙げた者の割合は、集合住宅で、それぞれ高くなっている。(表13)

図13 外国産野生動物を飼育すべきでない理由

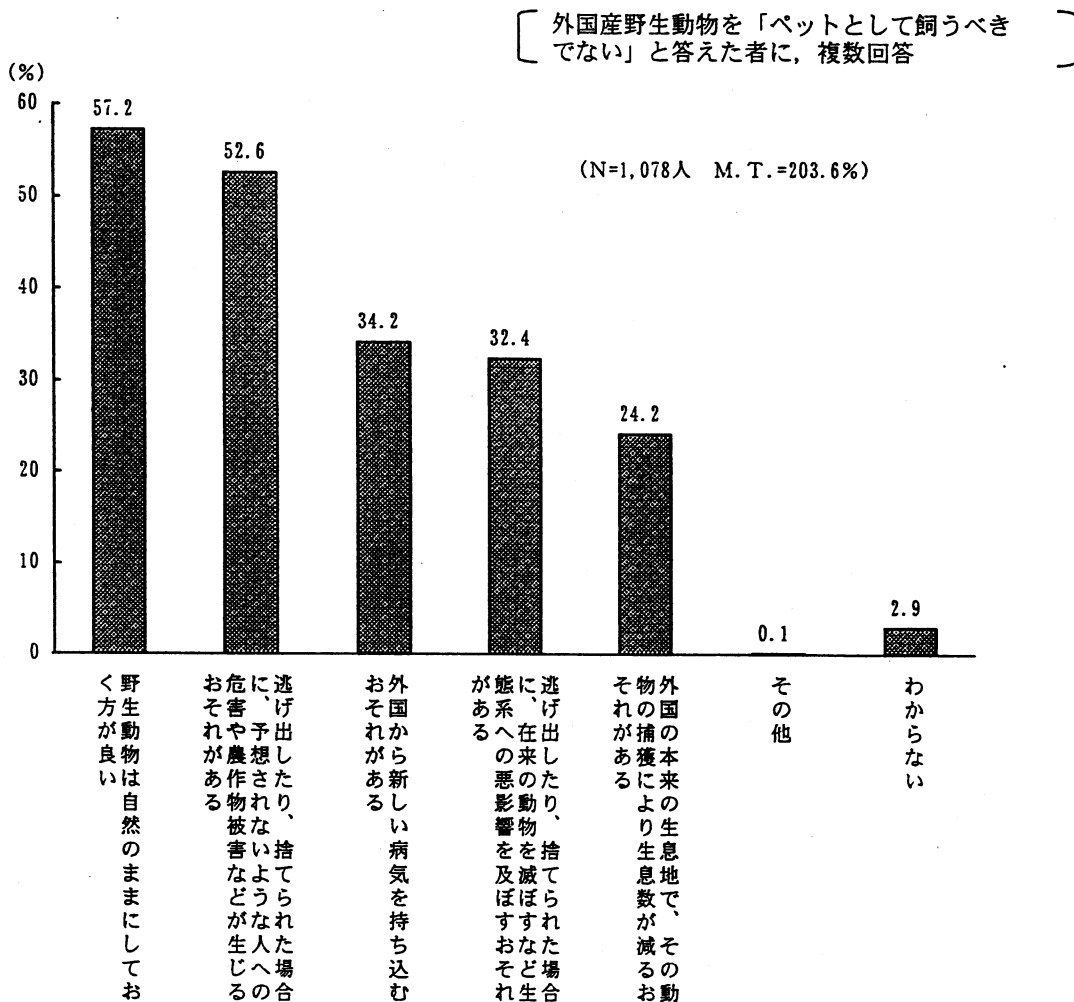


表13 外国産野生動物を飼育すべきでない理由

(外国産野生動物を「ペットとして飼うべきでない」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	良 野 生 動 物 は 自 然 の ま ま に し て お く 方 が	被 害 な ど が 生 じ る お そ れ が あ る	逃 げ 出 し た り 、 捨 て ら れ た 場 合 に 、 予 想 さ れ な い よ う な 人 へ の 危 害 や 農 作 物	が 外 国 か ら 新 し い 病 気 を 持 ち 込 む お そ れ	響 を 及 ぼ す お そ れ が あ る	逃 げ 出 し た り 、 捨 て ら れ た 場 合 に 、 在 来 の 動 物 を 滅 ぼ す な ど 生 態 系 へ の 悪 影	獲 外 国 の 本 来 の 生 息 地 で 、 そ の 動 物 の 捕	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 数	1,078	57.2	52.6	34.2	32.4	24.2	0.1	2.9	203.6		
〔都市規模〕											
大 都 市	230	64.3	50.9	41.7	33.0	32.2	—	2.2	224.3		
東 京 都 区 部	65	69.2	47.7	38.5	41.5	43.1	—	3.1	243.1		
政 令 指 定 都 市	165	62.4	52.1	43.0	29.7	27.9	—	1.8	217.0		
中 都 市	377	58.1	50.9	36.3	34.2	23.9	0.3	3.4	207.2		
小 都 市 村	226	52.7	58.8	24.8	34.1	18.1	—	0.9	189.4		
町	245	53.5	51.0	32.7	27.3	22.9	—	4.5	191.8		
〔性〕											
男 性	482	55.4	50.8	32.6	33.8	24.1	—	2.7	199.4		
女 性	596	58.7	54.0	35.6	31.2	24.3	0.2	3.0	207.0		
〔年 齢〕											
20 ～ 29 歳	67	64.2	40.3	43.3	23.9	22.4	1.5	1.5	197.0		
30 ～ 39 歳	119	57.1	57.1	36.1	42.9	30.3	—	2.5	226.1		
40 ～ 49 歳	190	58.9	44.7	31.6	34.2	28.4	—	3.7	201.6		
50 ～ 59 歳	238	59.2	53.8	38.2	33.2	30.3	—	2.5	217.2		
60 ～ 69 歳	268	57.8	54.1	31.7	30.6	20.9	—	3.4	198.5		
70 歳 以 上	196	50.0	58.2	31.1	28.6	14.3	—	2.6	184.7		
〔住居の形態〕											
一 戸 建 て	871	55.2	50.6	34.1	31.2	23.3	0.1	3.4	198.0		
集 合 住 宅	207	65.7	60.9	34.8	37.2	28.0	—	0.5	227.1		
〔ペット飼育の好き嫌い〕											
好 き (小計)	702	56.1	51.4	34.3	31.2	25.4	—	3.4	201.9		
嫌 い (小計)	345	59.4	54.2	35.4	35.7	22.6	0.3	1.4	209.0		
〔ペット飼育の有無〕											
飼 っ て い る	349	55.9	46.4	32.4	30.1	21.8	—	4.6	191.1		
飼 っ て い な い	729	57.9	55.6	35.1	33.5	25.4	0.1	2.1	209.6		

(3) 飼えなくなったペットの処置

家庭で飼っている犬やねこなどが、いろいろな事情で飼えなくなった場合、どうするのがよいと思うか聞いたところ、「新たな飼い主をさがす」と答えた者の割合が49.3%と最も高く、以下、「保健所や動物管理センターに引き取ってもらう」（28.5%）、「動物愛護団体に連れて行く」（16.7%）などの順となっている。

都市規模別に見ると、「新たな飼い主をさがす」と答えた者の割合は、中都市で、「保健所や動物管理センターに引き取ってもらう」と答えた者の割合は、小都市、町村で、「動物愛護団体に連れて行く」と答えた者の割合は、大都市で、それぞれ高くなっている。

性別に見ると、「新たな飼い主をさがす」と答えた者の割合は、女性で、「保健所や動物管理センターに引き取ってもらう」と答えた者の割合は、男性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「新たな飼い主をさがす」と答えた者の割合は、20歳代から40歳代で、「保健所や動物管理センターに引き取ってもらう」と答えた者の割合は60歳代、70歳以上で、それぞれ高くなっている。

住居の形態別に見ると、「新たな飼い主をさがす」、「動物愛護団体に連れて行く」と答えた者の割合は集合住宅で、「保健所や動物管理センターに引き取ってもらう」と答えた者の割合は、一戸建てで、それぞれ高くなっている。

ペット飼育の好き嫌いとの関連で見ると、「新たな飼い主をさがす」と答えた者の割合は、好きと答えた者で、「保健所や動物管理センターに引き取ってもらう」と答えた者の割合は、嫌いと答えた者で、それぞれ高くなっている。（図15、表15）